

第四次国有林野施業実施計画書

(一斉変更)

(置賜森林計画区)

(第一次変更計画)

計 画 期 間 自 平成 2 4 年 4 月 1 日
至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

(第一次変更 平成 2 5 年 3 月)

東北森林管理局

【変更理由】

次の理由から国有林野管理経営規程（平成11年農林水産省訓令第2号）第14条第2項に基づき変更するものである。

- 1 地域管理経営計画書、国有林野施業実施計画書及び伐採造林計画簿作成様式について（平成11年1月29日付け林野経第4号林野庁長官通達）一部改正により機能類型の区分を変更したことや、6レクリエーションの森の名称及び区域に表示項目を追加したこと、7公益的機能維持増進協定の名称及び区域、8（3）森林共同施業団地の項目を新たに記載することから変更するものである。

【変更項目及び頁】

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所毎の伐採方法及び伐採量並びに更新箇所毎の更新方法及び更新量	
（2）水源かん養タイプにおける施業群別面積等	2
（3）水源かん養タイプの施業群別の上限伐採面積	3
（4）伐採総量	4
（5）更新総量	5
（6）保育総量	5
6 レクリエーションの森の名称及び区域	6
7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域	9
8 その他必要な事項	
（3）森林共同施業団地	9
附 属 資 料	
（2）機能類型別の国有林野の現況	10

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに5機能類型及びエリア別の区域については、国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所毎の伐採方法及び伐採量並びに更新箇所毎の更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位 : h a)

施業群		面積	取扱いの内容	伐期齢(回帰年)
施業群	スギ・カラマツ等	2,668.57	伐区の分散 スギ・カラマツ等の人工植栽	60
	スギ・カラマツ 長伐期	390.93	伐区の分散 スギ又はカラマツの人工植栽	スギ 100 カラマツ 80
	植栽型 複層林	1,125.39	人工植栽による複層林誘導 育成複層林の造成	100
	アカマツ	166.05	伐区の分散 アカマツ等の天然更新	50
	広葉樹 択伐誘導	5,030.11	ブナ等の広葉樹を主とする天然林 択伐林への誘導	-
	広葉樹 択伐	2,740.82	ブナ等の広葉樹を主とする天然林 択伐天然更新	(40)
	ナラ等 中小径木	500.47	ナラ等を主とする天然林 皆伐萌芽更新	30
	天然更新 型複層林 誘導	807.57	育成複層林造成 天然更新	70
	分収林	163.98	個々の契約内容による	-
	その他	257.05	個々の林分ごとの目的に応じて取扱う	(40) - (60)
施業群設定外		344.94		
合計		14,195.88		

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施 業 群	上限伐採面積
スギ・カラマツ等外	222.38
スギ・カラマツ長伐期	19.66
植栽型複層林	112.54
アカマツ	16.61
広葉樹択伐	342.60
ナラ等中小径木	83.41
天然更新型複層林誘導	57.68
分収林	13.67
その他	32.13

(4) 伐採総量

(単位 : m³、ha)

区 分	林 地			臨時伐採量	計	林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計				
山地災害防止タイプ	-	14,091 (277.12)	14,091				
自然維持タイプ	-	37 (1.62)	37				
森林空間利用タイプ	-	401 (5.09)	401				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源 かん 養 タイプ	スギ・カラマツ等	-	26,277	26,277			
	スギ・カラマツ長伐期	-	5,287	5,287			
	植栽型複層林	-	17,478	17,478			
	アカマツ	-	173	173			
	天然スギ	-	-	-			
	広葉樹択伐林誘導	65	-	65			
	広葉樹択伐	227	-	227			
	ナラ等中小径木	173	-	173			
	天然更新型複層林誘導	75	6,857	6,932			
	分収造林	20,380	399	20,779			
	その他	-	-	-			
	施業群設定外	-	-	-			
計	20,920	56,471 (855.99)	77,391				
	20,920	71,000 (1,139.82)	91,920	2,500	94,420	-	94,420
	4,184	14,200 (227.96)	18,384	500	18,884	-	18,884

注1 : () は、間伐面積である。

(5) 更新総量

(単位 : h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合計
人 工 造 林	単層林 造 成	-	-	-	-	30.51	30.51
	複層林 造 成	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	30.51	30.51
天 然 更 新	天 然 第 1 類	-	-	-	-	-	-
	天 然 第 2 類	-	-	-	-	5.59	5.59
	ぼう芽	-	-	-	-	1.16	1.16
	計	-	-	-	-	6.75	6.75
合 計		-	-	-	-	37.26	37.26

(6) 保育総量

(単位 : h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合計
下 刈	単層林 造 成	-	-	-	-	111.90	111.90
	複層林 造 成	4.09	-	-	-	20.95	25.04
	計	4.09	-	-	-	132.85	136.94
つる切 ・除伐	単層林 造 成	1.70	-	-	-	107.65	109.35
	複層林 造 成	22.88	-	-	-	7.54	30.42
	計	24.58	-	-	-	115.19	139.77

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	新設 既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業 方法	選 定 理 由	既存施設 の概要	施設 整備
自然 観察 教育林	おぐに白 い森	既設	184.56	32Ⅱい～ほ,と～り	天 生 然 林	地域内でも優良なブナ天然林で、自然環境にも優れ、地元のシンボリックな森林となっている。小国町では当該森林を「ブナ文化ふれあいの里」として位置付け、自然観察の場として活用している。	トイレ 歩道 (小国町)	-
森林 スポ ーツ 地域	飯豊野 営場	既設	4.33	119Ⅰろ1	天 生 然 林	飯豊山の夏山登山基地として登山者に利用されるほか、キャンプ場としても利用されている。	ロッジ (小国町)	-
	大日杉野 営場	既設	1.36	242イ 243口,ハ	林 以 地 外	地蔵岳から飯豊本山に至る縦走コースの登山基地として利用されている。	避難小屋 キャンプ場 (飯豊町)	-
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	横根ス キー場	既設	6.48	93み1,み2	育 成 複 層林	小国町の近郊にあり、変化に富んだコースが整備されており、交通の便がよいことから地元以外からのスキーヤーも多い。	リフト ゲレンデ (小国町)	-
			7.31	93み,み3	天 生 然 林			
			26.01	220ハ,ニ,ホ	林 以 地 外			
	計	39.80						
	天元台ス キー場	既設	21.34	220ぬ,ぬ1,わ, か,れ～れ2, そ1～つ3,	天 生 然 林	奥州三高湯の一つで名湯として知られる白布温泉を基地として、温泉からロープウェイで天元台まで登る。高海拔にあるが、地形は起伏が少なく全体に緩斜面で斜面上部はアオモリドマツを主とした針葉樹林、下部はブナを主とする広葉樹林で覆われ、蔵王に匹敵する樹氷も見られる。積雪量、雪質に恵まれ、春遅くまで利用でき、初・中級者向けのスキー場である。また、夏季もリフトが運行され吾妻連山縦走やハイキング等で山岳景観を楽しむことができる。	リフト ゲレンデ (米沢市)	-
26.01			220ハ,ニ,ホ	林 以 地 外				
	計		47.35					

種類	名称	新設 既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業 方 法	選 定 理 由	既存施設 の概要	施設 整備	
風景 林	赤芝	既設	278.45	30い,ろ 31い 95た,れ	天 生 然 林	国道113号に沿って流れる荒川は、両岸に断崖が続き、浸食された河床は急流となり、変化のある渓谷をつくりだしている。特に紅葉時には、周辺の広葉樹天然林が急流に映え、優れた景観をつくりだしている。	-	-	
	片洞門	既設	4.46	50せ1 61い1	天 生 然 林	国道の沿線にあって、周辺の森林は四季の彩りに優れ、手軽なレクリエーションの地として親しまれている。	-	-	
	飯豊	既設	1.00	119 I い	育 成 複 層 林	飯豊山周辺森林生態系保護地域の保全利用地区内にあり、縦走路ある地藏岳からは、飯豊本山の雄姿が眼前に迫り、飯豊連峰の奥深さを見せてくれる。三国岳は、白川源流部の渓谷と、飯豊連峰の雄大な眺望地点となっている。また、地神山、御身平に近接する地域の頂稜には、ヒメコマツが点在し、山腹の灌木帯にもダケカンバが見られるが、大部分は峻険な山容を呈し、特異な山岳景観となっている。	-	-	
			3,216.39	119 I ろ 119 II 全小班 120は,に 121ろ 122い 123い 124い~ほ 125い~は1 242い,ろ	天 生 然 林				
			232.55	119 I イ 119 II イ~ソ 120ハ 125イ	林 地 以 外				
		計	3,449.94						
	吾妻・大平 温泉郷	既設	116.72	220い1~ほ	天 生 然 林	吾妻十湯の中でも、特に自然景観に優れたところで、滝や断崖のある渓谷美と、広葉樹天然林に囲まれた秘境の地として、脚光を浴びている。	索道 (大平温泉)	-	
			2.01	220口	林 地 以 外				
			計	118.73					
	吾妻スカイ	既設	5.81	224れ2,え,て	育 成 複 層 林	白布温泉から裏磐梯を結ぶ観光道路の沿線に位置し、広葉樹やアオモリトドマツが生立する森林景観が広がっている。特に白布峠は、優れた眺望地点となっている。	避難小屋 (山形県)	-	
174.25			222は, 224に~と,な, の1~こ1	天 生 然 林					
22.04			222イ 224イ~ヨ	林 地 以 外					
計			202.10						

種類	名称	新設 既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業 方 法	選 定 理 由	既存施設 の概要	施設 整備
風景林	野川	既設	756.05	250ほ～か 251い,ろ,ぬ,る 252ぬ,か 261い,ろ	天 然 生 林	大朝日登山の南口に あたり、野川源流域 と、ピラミッド型の山 容を持った祝瓶山の 峰々に囲まれ、ダム の湖水に花崗岩の特異な 山体が映える山岳景観 となっている。	-	-
			226.09	250イ,口 251イ～ハ 252ハ,ニ	林 地 以 外			
			計	202.10				
	鳩峰高原	既設	0.13	274う	育 成 複 層 林	通称「いろは坂」と言 われる国道沿線は、ブ ナ、イタヤカエデ等の 広葉樹天然林の中に、 アカマツ、ヒメコマツ が混交しており、紅葉 時には特に優れた森林 景観で多くの人達の入 り込みがある。	-	-
			115.92	274れ～む,の～ふ, さ～す	天 然 生 林			
7.68			274口～ホ	林 地 以 外				
計	123.73							
風致探勝林	温身平	既設	45.11	120い,ろ,は1,に1 121い～い2 125い1	天 然 生 林	玉川と梅花皮沢の合 流点にある緩斜面に位 置し、ブナーチシマザ サ群落の発達した地域 である。周辺は、動植 物相も豊かで、飯豊山 低山の貴重な自然と なっている。	歩道 トイレ (小国町)	-
			9.57	120イ～口 121口 125口	林 地 以 外			
			計	54.68				

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

名 称	区域 (林小班)		面積 (ha)	森林施業 の種類	林道の 開設等	設定年及び 有効期間	備 考
該当なし	民						
	国						

8 (3) 森林共同施業団地

名 称	対象地(林小班)		面積(ha)	連携した 施業の内容	備 考
小国町黒沢・種沢・ 大滝地区森林整備団 地	民	164い外 163い 162ろ	33.96	施業の集約化を図 り、路網整備と 主・間伐を実施す る	平成24年3月協定締結 小国町、山形県林業公社、 小国町森林組合
	国	88な、な2、う～う2、 お1、お2、お4、 て2～て4、う3、 お3、ま、え、え1、 89に、へ～と1、わ1、 む～や、ふ	106.53		

機能類型別の国有林野の現況

森林計画区：030 置賜

(単位：面積 h a, 材積 m³)

機能類型 林種	山地災害防止タイプ						自然維持タイプ		森林空間利用タイプ		快適環境形成タイプ		水源涵養タイプ		合計	
	土砂流出崩壊防備			気象害防備			面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積
	面積	材積	材積	面積	材積	材積										
人工林	1,576.66	326.346		1,576.66	326.346	71.25	16.029	51.15	13.182			5,253.75	1,127.050	6,952.81	1,482.607	
育成単層林																
育成複層林	115.43	41.285		115.43	41.285							25.99	7.688	141.42	48.973	
小計	1,692.09	367.631		1,692.09	367.631	71.25	16.029	51.15	13.182			5,279.74	1,134.738	7,094.23	1,531.580	
天然林																
育成単層林																
育成複層林	12.38	930		12.38	930							109.28	15.690	121.66	16.620	
天然生林	22,147.44	1,765.490		22,147.44	1,765.490	31,275.96	1,815.185	1,836.27	158.729			8,792.46	730.295	64,052.13	4,469.699	
小計	22,159.82	1,766.420		22,159.82	1,766.420	31,275.96	1,815.185	1,836.27	158.729			8,901.74	745.985	64,173.79	4,486.319	
無立木地																
竹林												14.40	305	14.40	305	
林地計	23,851.91	2,134.051		23,851.91	2,134.051	31,347.21	1,831.214	1,887.42	171.911			14,195.88	1,881.028	71,282.42	6,018.204	
林地以外	1,159.58	205		1,159.58	205	3,723.85	102	330.51	392			244.18		5,458.12	699	
合計	25,011.49	2,134.256		25,011.49	2,134.256	35,071.06	1,831.316	2,217.93	172.303			14,440.06	1,881.028	76,740.54	6,018.903	

注1 < >は機能類型区分外で内書。 2 ()は竹林の面積及び材積で外書。